

製品名: UBE2C (1N15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19519**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE2C
別名	UBCH 10; UbcH10; Ube2c;
遺伝子 ID	11065.0
SwissProt ID	O00762
免疫原	ヒト UBE2C の組み換えタンパク質

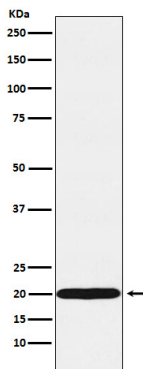
背景

E1 複合体からユビキチンを受け取り、他のタンパク質への共有結合を触媒します。in vitro では、「Lys-11」および「Lys-48」結合ポリユビキチン化を触媒します。有糸分裂の進行を制御する細胞周期調節性ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の必須因子として機能します。E1 複合体からユビキチンを受け取り、他のタンパク質への共有結合を触媒します。in vitro では、「Lys-11」および「Lys-48」結合ポリユビキチン化を触媒します。有糸分裂の進行を制御する細胞周期調節性ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の必須因子として機能します。APC/C 基質上の「Lys-11」結合ポリユビキチン鎖を開始し、プロテアソームによる APC/C 基質の分解を導き、有糸分裂からの離脱を促進します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



MCF7 細胞溶解物中の UBE2C 発現のウェスタン プロット解析。